

第 209 回 Brown Bag Lunch Seminar のご案内

「ジェンダーの視点から考える防災・減災」

～災害により強い社会の創生に向けて～

講師： 池田 恵子氏 静岡大学 教育学部/総合防災センター教授

日時： 2014 年 12 月 12 日(金) 12:30-14:00 (開場 12:00)

場所： FASiD セミナールーム

参加費： 500 円(賛助会員 無料)

2015年3月、仙台で第3回国連防災世界会議が開催されます。この会議の主要テーマの一つに「ジェンダー平等」が掲げられています。男性と女性が協力して防災に取り組むことで、災害に強い社会を創っていかうという理念です。

先進国途上国を問わず、災害の人的被害には男女差があり、女性はより多くの犠牲を受けやすいこと、災害後の女性の労働負担が増加、復興資源へのアクセスにおいて不利になりがちであること、女性への暴力が増加するといった事例が過去の災害とジェンダー研究から明らかになっています。一方で、女性は災害リスクを軽減するために多くの役割を担い、回復力を持っていることも、明らかになってきました。

日本政府は、2005年の第2回国連防災世界会議(神戸)で採択された「兵庫行動枠組み2005-2015」において、すべての防災政策や計画の作成・決定に女性が参画し、女性の視点を導入することを提唱しました。また、2014年3月の第58回国連女性の地位委員会で「自然災害とジェンダー」と題した決議案を提出し、全会一致で採択されました。2014年7月の世界人道サミット北・南東アジア地域準備会合(東京)においても、災害に強い社会づくりと女性の参画の確保を重要視するなど、災害とジェンダーの分野でリーダーシップを発揮しています。

今回のセミナーでは、災害とジェンダーの研究に長く取り組まれている静岡大学教育学部/静岡大学総合防災センター教授の池田恵子氏より、防災・減災とジェンダーに関する国際的潮流、途上国や日本の具体的な施策の事例についてお話いただきます。

■講師略歴：

青年海外協力隊、JICA技術協力専門家(開発とジェンダー)などを経て、2000年より静岡大学教員。社会地理学、南アジア地域研究が専門。バングラデシュを対象に、農村住民の災害対応、地域防災への女性の参加などを研究。東日本大震災女性支援ネットワークのメンバーとして調査や研修に従事。2014年4月に男女共同参画/ジェンダーの視点を取り入れた防災(復興)対策・体制を普及させていくことを目的に「減

災と男女共同参画 研修推進センター」を設立、共同代表を務める。

減災と男女共同参画 研修推進センター: <http://gdr.org/>

参加ご希望の方は 12月10日(水)15時までに、URL内のオンラインフォームよりお申し込み下さい。会場の都合でご出席頂けない場合のみ、事務局よりご連絡いたします。尚、昼食は各自ご持参下さい。

関連 URL: http://www.fasid.or.jp/seminar_info/83_list_detail.html

お問い合わせ先

一般財団法人国際開発機構(FASiD) 国際開発研究センター 担当: 浜岡
〒106-0041 港区麻布台 2-4-5 メソニック 39MTビル 6階 最寄駅: 地下鉄神谷町、赤羽橋
Tel: 03-6809-1997 Fax: 03-6809-1387 Email: bbls@fasid.or.jp
地図: http://www.fasid.or.jp/about/8_index_detail.shtml